



大直禰子神社本殿―桜井市三輪で



大直禰子神社（桜井市）



の鳥居から北側約100
 ㏎に鎮座します。

「古事記」には、第十
 代崇神天皇の時代の疫病

大流行時、天皇は大物
 主大神の神託により、
 大直禰子命を見出し祭

大神神社の摂社である
 大直禰子神社は、本社二

つたところ、疫病は治ま
 って国が平和になり栄え

（住所）桜井市三輪177
 （祭神）大直禰子命、少彦名命、
 活玉依姫命
 （交通）JR三輪駅から徒歩約10分

（拝観）境内自由
 （駐車場）無料（大神神社駐車場）
 （電話）0744・42・6633
 （大神神社）

たと記されています。平
 安時代の「延暦僧録」
 によると、奈良時代には
 前身の大神神社の神宮寺
 ・大神寺として創建され
 ていたと伝わります。

鎌倉時代に叡尊による
 大改修の際に寺号を大御
 輪寺に変え、大直禰子命
 の御神像とともに、本尊
 の十一面観音菩薩立像
 について、国の重要文化

寺となり、大直禰子神社
 となりましたが、鎌倉時
 代改修の本堂は本殿とし
 て残り、大神寺本堂であ
 り、諸仏は分散され廃
 寺となり、大直禰子神社
 となり、大直禰子神社
 となり、大直禰子神社

毎年4月9日の春の大
 神祭では若宮の御霊代を
 神輿に移し、神職・巫女
 をはじめ、時代装束に身
 を包んだ氏子や稚児など
 総勢約250人が、三輪
 の町を巡幸する若宮神幸
 祭が執り行われます。

（奈良まほろばソムリエ
 の会会員 池田崇）

疫病治め平和もたらす